

NO. 2	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	8	鈴木 慎也	
<p>1. 人口減少に対する取り組み等について</p> <p>木古内町の最重要課題であります人口減少問題については、庁舎内に設置済みの人口減少対策検討会議と並行して「まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会」を設置したとの報告を受けており、各分野で取り組んでいることは把握しております。また、地域経済分析システムによると木古内町の人口は2040年には約半分の2,335人になってしまいます。</p> <p>民間レベルの婚活は、いままで町内で2回、札幌で1回、仙台、青森で各1回の計5回開催してまいりましたが、今後は、官民一体となり町の人口減少対策に力を入れていくべきだと思います。</p> <p>そこで、婚活支援・結婚相談センターの設置を提言します。</p> <p>町長の考えを伺います。</p>			町長
<p>2. 高齢者の安心な暮らしについて</p> <p>最近、高齢者のかたから「火災が多く不安だ」との声が聞かれます。</p> <p>火災の原因は様々ですが、行政として万が一の時に命を守る方法や火災などの非常事態をいち早く知らせる方法等を新たに検討するべきではないでしょうか。</p> <p>町長の考えを伺います。</p>			町長
<p>3. 定住促進対策・生活環境整備について</p> <p>定住促進につながる地域活性化の問題でも、国道228号線沿線の開発に対する行政の積極的なアプローチが見えません。</p> <p>例えば、みそぎ浜の信号機設置はいさりび団地や病院の福祉的環境・観光客や定住者の安全環境整備の点からも一刻も早いアクションが必要だと考えております。</p> <p>また、木古内町は交流人口の拡大を通じて農業、商業、観光などの地域振興を図り、定住促進につなげようとしているかもしれませんが、行政は交流人口の拡大と定住促進はイコールだと勘違いされているような気がします。私は、「住める町木古内」を目指すうえで、いま現在木古内町に住まわれている町民の満足度を上げる方策が人口減少を食い止める方策なのだと強く思います。</p> <p>そこで私は、どうすれば町民の満足度を上げることができるのかを</p>			町長

真剣に考え、評論家のような言葉ではなく実行力をもって行政運営にあたらなければならないと考えており、いま以上に定住促進の強化をすべきだと思います。

町長の考えを伺います。